

第3回津島A級 チャレンジカップ 軟式野球大会

Victory

好生館病院

優勝決定試合 11/17(日)

<試合経過>

チーム名	一	二	三	四	五	六	七	計
津島ブレーブス	2	0	0	0	0	0	0	2
好生館病院	0	0	2	0	1	0	×	3

初回ブレーブスは失策と四球の2死二三塁から5番服部が左中間越えのタイムリー二塁打で先制した。好生館は三回1死から死球の走者が盗塁し、4番鶴見がレフト前タイムリー、5番松下がライト前タイムリーして同点とした。がっぷり四つになったが、勝負の分水嶺は好生館セカンドの池口の好プレー、五回ブレーブスのセンター前に抜けそうな当たりを連続攻守して、その裏の攻撃に繋げた。すると好生館3番後藤のコンパクトに放った打球はきれいに弧を描いてレフトフェンスを越えていった。好生館先発都間は残り4イニングをピッチャリと3人ずつで抑えた。今シーズンレベルベスト1の好試合であった。



<中藤監督のコメント>

先発の都間くんは立ち上がりに攻撃を受けましたが、その後しり上がりに調子を上げてくれた。新人後藤君の本塁打が決勝点になりましたが、その前の守りでセカンド池口君の好プレーがあったおかげで勝ちのリズムになりました。試合に臨むに際して勤務をずらしていただくなど職場の協力があってこそです。医療という大変な職務を担いつつ、資格取得のために勉強をしながら野球に取り組んでいる選手諸君に敬意と感謝をいたします。